こおろぎ

発行日　2003年 11月 1日　No.128
発行元　株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役 ： 杉 井 保 之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町 777-1
TEL 054-636-4300　FAX 054-636-6187
E-mail　origin@ck.tnc.ne.jp
URL　http://www.origin－co.com

満足要因と不満足要因

「こおろぎ」いつもありがとうございます。「ジャムは、どこに消えた?」楽しく読ませていただきました。
私も中小企業の経営者の一人として、会社でも、家庭でも、皆の意見をよく聞いて経営しているつもりです。でも、社員や妻の不満は一向に減りません。どうしてでしょう?
何かアドバイスがあったら、是非、教えてください。

以前は、夫婦関係の相談は女性からばかりでしたが、最近「妻によく怒られるのですがどうしたらよいでしょう？」という男性からの相談が増えています。

FM ラジオで「男と女の心理学」という番組をやっていた私が、ズバッ！と、お答えしましょう！

この相談者のように真面目な方は、奥さんや社員さんの不満を解決すれば、きっと満足してくれるだろうと考えて、一生懸命に努力されていると思います。

でも、奥さん達の不満を解消したら、本当に文句を言わなくなるでしょうか？

答えは、「NO！」だと思います。

奥さんに言われて家事をしたとしても「文句を言ったからやった」訳ですから奥さんはご主人に感謝を感じません。それどころか、「文句を言うと、やる」ということを学習して、してほしいことがあったら「文句を言う」という行動が増えていくと思います。

真面目な人ほど、不満を解決すると、満足にたどり着くと思いがちですが、実は「不満足要因（ないと不満だが、あっても満足を感じにくい刺激）」と、「満足要因（なくてもなんとかやっていけるが、あると満足を感じる刺激）」という二つの刺激があるのです。

例えば、社員さんの不満を聞いて「給料」を１０万円上げたとしましょう。社員さんは満足し、会社を好きになるでしょうか？　奥さんは、やさしくなるでしょうか？　１～２ヶ月は喜ぶかもしれませんが、たぶんすぐに慣れてしまうでしょう。

「お金」は、ないと不満ですが、あっても満足しない「不満足要因」の代表的なものなのです。

私は、家でわがままばかり言っていますが、妻に怒られることはほとんどありません。それはたぶん妻の不満を聞くことより、妻の「満足要因」を刺激しているからだと思います。

では、「満足要素」にはどんなものがあるのでしょうか？

仕事で言えば、「やり甲斐」「達成感」「人に喜んでもらったこと」などが挙げられますし、家庭では「夢」「笑い」「ユーモア」「ちょっとした心配り」といったものが挙げられるでしょう。

人と仲良くする上で大切なことは、問題へのアプローチではなく、喜びへのアプローチなのです。高価な指輪を渡せなくても、１００円の指輪に相手の気持ちを感じて、感動したりするものです。

「満足要因」のポイントは、「相手の予想を外すこと」です。

定型的な働きかけではなく、「えっ！まさか」「わざわざ私のために」というところがポイントになります。是非、家庭や職場で「満足要因」を刺激してみてください。

こうした知識は、会社を興した頃の貧しかった私に、「お金がなくても、人はついてきてくれるかもしれない」と、大きな励みを与えてくれました。

このように知らないとあきらめてしまうことが、たくさんあると思います。この度、FP ステーションさんから、「リーダーシップ」のビデオと CD を出させていただきましたが、私なりのいくつかのコツをまとめたつもりです。良かったら、参考にしてください。

強くなった？　弱くなった？

最近、「女性が強くなった」と言いますが、本当に強くなったのでしょうか？　男女を問わず、キツイ言葉を言ったり、険しい顔をしたい人はあまりいないと思います。感情的になっている人も、本当は穏やかに暮らしたいと願っているのではないかと思います。

先日、社員旅行でアメリカのザイオン国立公園に行ってきましたが、大きな自然に触れて、つくづく薄っぺらな生き方をしている自分に気づかされました。

造り物の世界に生きていると、まるで自分の力で生きているような気になり、自分の理屈で物事を考えがちですが、私たちは大自然の中を間借りしているに過ぎません。雄大な自然に身を置くと、自分の小ささや、畏敬の念を忘れていることに気がつくのです。

私の大好きな方が北海道の佐呂間にいます。

その方が「俺も若い頃は、自分が頑張れば何とかなるように思っていたけど、この景色を見てごらんよ。人間って小さいよ。受け入れるしかないし、与えてもらうしかないもん」と言って、佐呂間の美しい景色を見せてくれたときのことを思い出しました。

私たちは本当に強くなったのでしょうか？

簡単にキレる人が増え、とんでもない犯罪が増えましたが、自分の小ささ、弱さを忘れ、起こったことを受け入れられなくなっただけなのではないでしょうか？

私自身、色々な造り物に守られ、自然（事実）の中で生きていけないほど、弱くなっている自分に気づかされた旅でした。

学校経営の難しさに苦慮しておる日々の中、この度の「こおろぎ」のお話を嬉しく読ませていただきました。
リーダーと思いつつ、いつの間にか私達教員はボスになっていたのではないかと反省いたしました。子どもの問題は、家庭の責任、家庭は社会、世の中と責任を転嫁し続け、その多くが学校に戻って来たように感じます。本当は自分に哲学をもち、自問し続けなくてはならないのは私達でした。

いつも「こおろぎ」に感動したり、勇気づけられたりして読ませていただいております。いただくばかりで、ご無沙汰してしまい、杉井さんが少し遠い存在に思えておりましたが、思いがけず国体の写真付きのお葉書をいただき、まだ覚えていてくれたんだと感激しました。
ゴールの写真を拝見して、自分が真剣にやること、一生懸命やることの重さを感じました。タイムが悪かったとのことですが、その姿の美しさから、自分を反省しました。

ご心配をおかけしました！

私の膝のことを心配して、たくさんのお便りをいただきましたが、１１月９日のハーフセンチュリーライド（８０ｋｍの自転車の大会）で総合９位に入り、完全復活をいたしました。もう大丈夫ですのでご安心ください。応援、励ましのお便り、ありがとうございました。

ご注意ください！！
もし彼女に１００円の指輪を差し出した時、「えっ！」ではなく、「え～っ！」という反応が返ってきたら、間違いなく「不満足要因」を刺激しています。どうか気をつけてください。（笑い）